

あなたは、下関に住み続けたいですか

市民の皆さんが、住み続けたいと思うまちとは。その重要な要素の一つが、人と人とのつながりです。今、まちの住民同士がつながり、良い連鎖が広がっている。阿川駅と唐戸商店街の取り組みをご紹介します。

広報戦略課(☎231-2951)



1. 人をひき付ける魅力を持つ塩満直弘さん。 2. 豊北まちづくり非公式イメージモデル妻崎和雅さん。 3. 唐戸商店街のフードメーカー唐戸商店会山口昌則理事長。 4. 下関愛あふれる郵便局長古本育士さん。 5. たくさんの仕事を器用にこなす梶原康弘さん。



人柄に魅力を感じて

豊北町ののどかな田園風景が広がる場所に「R山陰本線の阿川駅があります。モダンな透明の駅舎の隣には「小さなまちのKIOSK」がコンセプトの店「Agawa」があります。ここでは、地元の特産品で作られたドリンクやフードを提供しています。

ここをプロデュースしたのが塩満直弘さんです。塩満さんは、萩市でゲストハウスを運営しながら「もっと広域で、たくさんの人に目的意識を持ってもらえるようなことをしたい」と思い、出店する場所を探していました。

そんなとき、塩満さんは妻崎和雅さんと運命的な出会いをします。地域をこよなく愛し、あらゆるお店に顔を出し、地域のために頑張っている人がいたら全力で応援する妻崎さん。「こんな人がいる阿川は良い場所に違いないと思いました。どこの馬の骨かわからない自分の話を、妻崎さんが面白がって聞いてくれたのもうれしかったです。妻崎さんを信頼して、阿川に来ました」と塩満さんは振り返ります。

こうして塩満さんは、新しい阿川駅舎とAgawaのプロデュースを決心。阿川へ移住してきました。

「見方や感じ方で、価値は大きく変わることをAgawaを通して表現したい、駅はこうじゃなければならぬ」という物事に対しての固定観念も風通し良くできたらと思いました」

「何もない」を魅力に

「青々としたオーシャンビューが広がっているわけでもなく、不便な沿線ではありますが、独特の優しい光の中を汽車が入ってくる情景は、旅情をかき立てます。この景色は本質的で、とても価値があると思います」塩満さんは、阿川の印象をこう話します。

「90歳ぐらいのおばあちゃんが、手押し車でやってきて、おもむろに花を飾ってくれるんです。『おばあちゃん、姿勢が良くなっただんじやないですか』と言うと『あなたから元気を吸い取っちゃよる』と言って笑って帰ります」と、塩満さんはうれしそうに話します。

塩満さんが来てからのことを、妻崎さんが話してくれました。「豊北は



「見方や感じ方で、価値は大きく変わることをAgawaを通して表現したい、駅はこうじゃなければならぬ」という物事に対しての固定観念も風通し良くできたらと思いました」

この土地の可能性を感じ、つながりもできました。これが子どもたちにも、どんどん広がっていったら面白いなと思います。今、すごく良い連鎖が広がっています」

「Agawaがあるから、阿川駅の価値が上がり、思い出す景色がある」そんな場所になるように、塩満さんたちは活動しています。

[Agawa] 営業時間

土・日・祝日 11時～16時30分

※時間を変更することもあります



①



③



②

- ①Agawaの前で。塩満さん(左)と妻崎さん(右)。
- ②地元の食材を生かしたメニューがあります。
- ③しゃぼん玉でみんなを楽しませる妻崎さん。

郵便ポストが金色に

「応援してくださいと皆さんに恩返しをしたい。小さいころからお世話になった唐戸商店街に人の流れができれば」下関市出身で東京2020パラリンピック金メダリスト道下美里選手のひとつ言からすべてが始まりました。昨年9月、金メダリストゆかりの地の郵便ポストを金色に塗り替えられるプロジェクトで、唐戸商店街にある下関中之町郵便局前のポストが金色に塗り替えられることが発表さ



①



②

③

①ゴールドポスト除幕式。 ②道下美里選手。下関にいたときはこのポストに手紙を投函していたそうです。
③ダンスで盛り上げる下関中等教育学校の皆さん。

れました。「すごく驚きました。道下選手はもちろん、道下選手に親しまれた、郵便局の先輩方に感謝しています」下関中之町郵便局の古本育士局長はその時の気持ちをこう振り返ります。

除幕式では、視覚に障害のある道下選手を音で歓迎しようと、地元の皆様さんが旗で音を立てたり、下関中等教育学校の生徒さんが賑やかなダンスを踊ったりしました。まさに、まちを挙げて道下選手への感謝の想い、感動を伝えたイベントとなりました。

イベントをきっかけに

「これを機に、唐戸エリアに縁起の良い『金のエリア』としてのイメージを定着させることはできないか」そう考えた市が「ゴールドラッシュイベント」を企画。「企画を聞いたときはワクワクしましたね」と唐戸商店会の梶原康弘副理事長。即日実施が決定されました。

こうして、官民、郵便局も一体となり「ゴールドラッシュイベント」が始まりました。ゴールドポストを起点に「世界一のスポット」などを巡るデジタルスタンプラリーや、金のポ



①



②

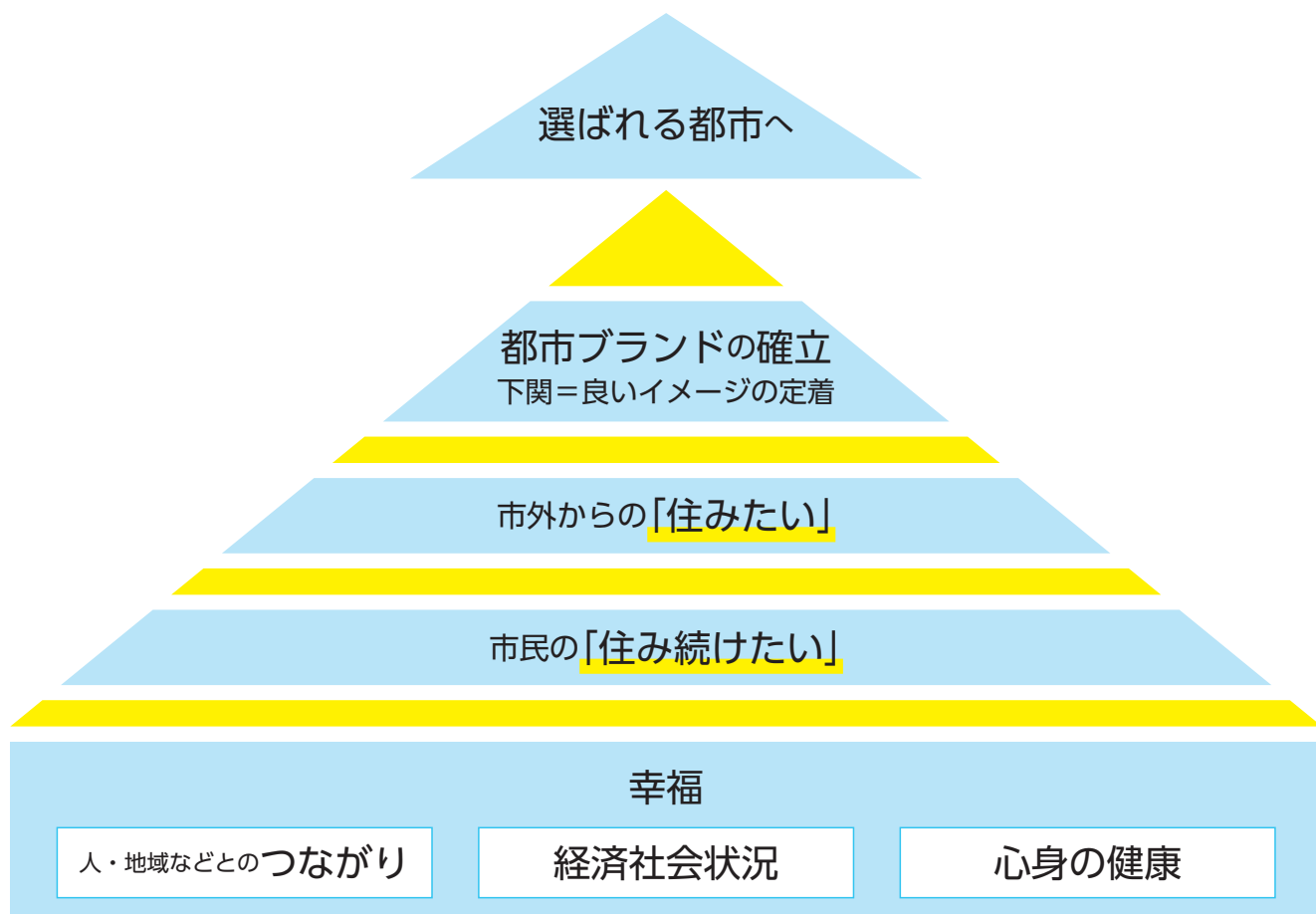
③

①右から下関中之町郵便局古本局長、唐戸商店会山口会長、梶原副会長 ②スタンプを集めた特典はゴールドメダルでした。 ③イベントで大好評だったかじれる金メダルクッキー。150円。

ストの御朱印の授与、食べ物などに金箔をふってもらえるサービスを行いました。イベントの宣伝は主に市が行い、金箔のサービスは各店舗が協力。金箔はポートレース下関の提供でした。商店会の店舗が、金にちなんだお菓子も作りました。

梶原さんはイベントをこう振り返ります。「絆が深まりましたし、ここに写真を撮りに来てくれる方が増えました。これをきっかけの一つとして、唐戸の5つの通りがまとまればと思っています。そうすることで、商店街として、より大きな力が出せると思っています」

下関が「住み続けたい」「住みたい」まちになるためには



この下関の良さを、SNSで発信したり、まちをもっと良くしようという活動したりしている多くの方々と共感したいです。そして地域に愛着や誇りを感じる人とのつながりながら「下関ってなんだかいね」と市外から言われるようなプロモーションを展開していきたいと思っています。

たしかに下関市は歴史が深く、食べ物なんでもおいしい！市街地はしっかりと都会で、関門海峡の景観や、角島などの美しい自然にも恵まれているなんて、素晴らしいまちではないですか！

この下関の良さを、SNSで発信したり、まちをもっと良くしようという活動したりしている多くの方々と共感したいです。そして地域に愛着や誇りを感じる人とのつながりながら「下関ってなんだかいね」と市外から言われるようなプロモーションを展開していきたいと思っています。

Keigo Nagatomi



広報戦略課 シティプロモーション

担当 永富 敬吾主任